

小樽南ロータリークラブ会報



2022-2023年度RI第2510地区目標

- クラブの将来像を打ち立てる
- より多くの会員の参加を得てクラブにおいて新たな事業に取り組む
- 青少年への支援を発展・充実させる
- ICTも利用して交流の輪を広げる

My Rotary
第2510地区ホームページ
ICT委員会Facebook
各委員会へのメール



地区クラブ奉仕委員会の目標

クラブの活性化のための
クラブに寄り添った活動!
クラブが主体!

- 例会場：オーセントホテル小樽 ●例会日：毎週金曜日12時30分
- 事務局：〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1 (オーセントホテル内) TEL.0134-27-8080
- Club Homepage: URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

1960年創立
昭和35年2月5日

2022年8月 5日発行
通巻 第2976号

04

今週 8月5日金のプログラム
●卓話：松浦ガバナーエレクト

来週 8月12日金のプログラム

再来週 8月19日金のプログラム

■第4回例会報告(7月22日金) ●新入会員卓話：山本政秀会員

■ロータリーソング【4つのテスト】

■ゲストビジター紹介

小樽RC 大川久美子 様

■会長挨拶【山村会長】

7月16日(土)札幌で地区会員増強セミナーが開催されました。私が婚礼があり欠席、代理として井手幹事、小笠原会員組織委員長が出席されました。

17日(日)第6グループの会長幹事会がニセコで開催、出席して来ました。

19日(火)小樽RC主催の潮踊りの練習会があり会長幹事会計、次期会長佐藤友美国際奉仕副委員長、米山奨学生孔さんの6名で参加しました。

小樽RCはこの日夜間例会でコロナ対策をした上で畳を横にした幅の大きな一文字に小樽RC親睦会と掲げ、夜の綺麗どころを10名ぐらいお呼びしてコロナを吹き飛ばすような親睦と経済活動に力を入れているのが目に付きました。

地区大会、RLIセミナーで関係委員会各位に於かれましてはご多忙になると思いますがご協力の程宜しくお願いします。

例会プログラム、山本政秀新会員卓話拝聴させていただきます。

■幹事報告

- 例会変更の案内
余市RC 7/27 夜間例会に変更

- 潮ねりこみについて
明日は3クラブ合同で練りこみに参加します。まだ予定にお空きがある方は、応援に来てください。18:10前後からスタートの予定です。

●地区大会について

日時は10/14~16の3日間の開催です。今年もハイブリット形式の開催となり、指名出席者も5名程度になりますが、記念ゴルフには指名参加はありませんので参加を希望される方はメールかFAXにて幹事に8/4までに連絡ください。

●地区の教育プログラムの一つRLIについて

RLIセミナーはまだ今年で4年目の開催です。Zoomでの受講になります。3回の受講で終了となります。非常に良いセミナーです。次期会長、幹事は受講して貰いますが、是非入会5年目以上の方に受講頂きたいと考えております。3役に検討し数名受講のお願いしようと考えております。

●地区増強セミナーの報告(7/16開催)

資料はホームページよりご覧ください。

●来週7/29は休会です。8/5は食事の提供はありません。食事券になります。来場時間を間違えないようにお願いします。

- 本日は例会後理事役員会を予定しております。

■出席委員会

令和4年7月22日金

- 会員総数 58名
- 本日の欠席者 14名
荒田、石川、上野、小笠原、工藤、佐藤(公)、佐藤(勉)、田中、地山、拝田、保知、前川、宮川、村越
- リモート出席 3名 桂、佐藤(友)、小林

令和4年7月7日金

- 会員総数 58名 出席摘要免除者数 9名
- ホーム欠席者数 14名 メーキャップ数 0名



第56回 おたる潮まつり
潮ねりこみ参加!
令和4年7月23日(土)





どうして東西本願寺があるのか



新入会員
山本政秀会員

皆様こんにちは。小樽別院の山本です。

私の自己紹介的な話より、いろんな方から、「どうして西本願寺と東本願寺があるのか」と、よく質問を受けますので、このことについて、宗教的ではなく、歴史的な背景を基にお話ししたいと思います。

「どうして西本願寺と東本願寺があるの」かについてお話しするには、大阪という街を抜きにしては語れません。

大阪教区は、寺院数が大阪府だけで850ヶ寺という、浄土真宗本願寺派最大の教区です。その拠点が、大阪市中央区本町、いわゆる「船場」のど真ん中にある津村別院で、その別院の正面を南北に通る道が「御堂筋」と呼ばれています。

大阪では、南北に通る道を「筋」、東西に通る道を「通り」と呼びます。

この「御堂筋」の名称の由来ですが、江戸時代から、大坂にあった「本願寺派津村別院」は「北御堂」、「真宗大谷派難波別院」は「南御堂」と呼ばれ、南北とも「御堂さん」と、親しまれてきました。この二つのお御堂があることから、大正3年から昭和10年まで大阪市長を務めた関一（せきはじめ）市長が「御堂筋」と名付けました。

親鸞聖人を宗祖と仰ぐ浄土真宗の教えを受けつぐ宗派は、10派あります。その中で最大のものが、西本願寺を本山とする浄土真宗本願寺派と、東本願寺を本山とする真宗大谷派です。

本願寺が西と東に別れた背景は、今から約520年前の戦国時代に遡ります。もともと浄土真宗は、親鸞聖人を宗祖と仰ぐ教団で、東西の宗派はなく1つでした。しかし、時の戦国武将の織田信長が、現在の大阪

城の場所「生玉の庄内大坂」にあった石山本願寺を攻めた石山合戦がきっかけとなって2つに分かれたのです。

京都に寺基を定めた本願寺は、文禄元年1592年7月に阿弥陀堂、11月に御影堂の落成法要が修されますが、御影堂落成の4日後顕如上人が遷化されたため、秀吉は、一旦教如上人の本願寺継職を認めます。しかし、翌、文禄2年1593年に、秀吉は、顕如上人が書かれた准如上人への本願寺継職譲状に基づき、准如上人に本願寺継職を認め、教如上人は、隠退処分を受け、准如上人が本願寺の第12代宗主となります。これが今日の西本願寺に繋がります。

しかし、納得できない教如上人は、文禄4年1595年、現在の大阪市北区の天満橋と天神橋の間に位置する「渡辺（わたなべ）の地」に、東本願寺の難波別院の前身となる坊舎を建立します。しかし、この坊舎も、大坂城の城下町整備のため、現在の心斎橋に近い地へ移転することになり、慶長3年1598年に難波別院が出来ます。

その年に豊臣秀吉が没し、その後、慶長5年1600年の関ヶ原の戦いを経て、時代の支配者は徳川家康に移りますが、家康にとっても浄土真宗の勢力は目の上のたんこぶでした。そこで、家康は巨大な本願寺勢力を分断するため、不満のたまっていた教如上人に、慶長7年1602年に、京都烏丸六条・七条の間の地を寄進し、慶長9年1604年に、新たな本願寺として、東本願寺が創立することとなりました。

これが東西本願寺分流の経緯です。もとは一つの教団が、時の権力者によって翻弄された結果2つに分かれました。しかし、親鸞聖人の教えには全く違いはありません。

以上時間が来ましたのでこれで終わります。ご清聴有り難うございました。

まごころ箱……いつも有難うございます！

山村会員…小樽ロータリークラブの大川様、メーカーキャップご黒様です。山本政秀新会員、卓話ありがとうございます御座います。

あすの潮ねりこみ、当日参加OKです。よろしく申し上げます。

斎藤会員…会員誕生祝。

松尾会員…お先に失礼いたします。

入金集計額 令和4.7.1～令和4.7.22 (6,500円)

合計 **176,500円**